

ぶどう「シャインマスカット」の短梢剪定栽培技術の確立

要約

「シャインマスカット」の短梢剪定栽培において新梢を 1 m で摘心することにより、2 m で摘心した場合に比べ、果粒肥大及び糖度上昇が促進され、果実品質が向上した。一方、2 m で摘心した場合の新梢管理時間は、新梢を 1 m で摘心した場合に比べ 55% まで短縮された。

○ 展示のねらい

シャインマスカットの短梢剪定栽培において、新梢管理方法の違いが果実品質及び新梢管理の作業時間及ぼす影響を確認する。

○ 主な成果

新梢 1 m 区の 1 粒重は 9.8g であり、新梢 2 m 区の 1 粒重は 11.3g であった (表 1)。

新梢 1 m 区の換算収量は 1015kg/10a であり、新梢 2 m 区の換算収量は 845kg であった (表 1)。

新梢 1 m 区の新梢管理時間は 31.0h/10a であり、新梢 2 m 区の新梢管理時間は 17.1h/10a であった (表 2)。

供試樹が結果 2 年目の若齢樹で花穂数が十分に確保できなかったため、換算収量は目標 (成木時) の 56~68%にとどまった。なお、供試樹は樹勢がやや弱い状態であった。

以上のことから、樹冠拡大期における弱樹勢樹では新梢を 1 m で摘心することで収量、果実品質とも良好になると思われた。一方、強樹勢樹では新梢管理時間の増大が懸念されることから、新梢を 2 m で摘心することで新梢管理時間が短縮できると思われた。

表1 収量及び果実品質

供試区	主枝長	着房数		着粒数	房重	1粒重	収量		糖度
	m	房/m主枝	房/10a	粒/房	g	g	kg/m主枝	kg/10a	Brix %
新梢1m区	3.7	4.6	2297	38.9	442	11.3	2.03	1015	20.2
新梢2m区	4.7	4.7	2340	36.9	361	9.8	1.69	845	19.6

表2 新梢管理時間

供試区	誘引			誘引+ 新梢摘心	副梢摘心		合計	
	1回目	2回目	3回目		1回目	2回目	s/m主枝	h/10a
	s/m主枝							
新梢1m区	29	/	/	54	73	67	223	31.0
新梢2m区	30	28	24	41	/	/	123	17.1

○ 今後の方向性

新梢 1 m での摘心は果実品質の向上に有効であり、新梢 2 m での摘心は新梢管理時間の短縮に有効であることから、目標とする果実品質、樹勢及び確保可能な労働力を考慮した上で、目的に応じた新梢管理の技術普及を図る。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：栃木市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315